



○ 秋は野山がカラフルで、生きものたちの動きも賑やかになります。

見ているのは楽しいですが、実際は “アー、イソガシ！ アー、イソガシ！”かな？

aiko.

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会  
 (NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)  
 代表：田村耕作／事務局長：小野 仁  
 編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦  
 〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号  
 田村の自宅内 TEL : 090-8220-6160  
 URL : <http://www.kurabird.com/>  
 掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★  
 春日公園での自然観察会 (142回)  
 日時 10月21日 (土) 10時から12時  
 【連絡先】 担当：田村 耕作  
 TEL 090-8220-6160 [田村の携帯]

**注意** 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大や様々な状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。  
**詳しくは各団体にお問い合わせください。**

**日本野鳥の会 福岡支部 主催**

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

<p>10月15日（日） 11月19日（日）                  天拝山探鳥会（筑紫野市）                  時間：9:00～12:00（9月のみ）                  集合：天拝山歴史自然公園                  問合せ：090-7165-5026（重松）</p>	<p>10月22日（日） 11月26日（日）                  久末ダム探鳥会（福津市）                  時間：9:00～12:00                  集合：久末ダム多目的広場横                  駐車場（管理事務所下）                  問合せ：0940-33-7846（高原和幸）</p>	<p>11月5日（日）                  今津探鳥会（福岡市西区）                  時間：9:00～12:00                  集合：玄洋高校西側道路                  問合せ：090-8220-6160（田村耕作）</p>
<p>11月11日（土）                  大濠公園（福岡市）                  時間：9:00～12:00                  集合：ボート乗り場前                  問合せ：092-834-8644（持永俊行）                  注）11月は公園の都合で5日に変更。</p>	<p>11月12日（日）                  和白海岸探鳥会（福岡市東区）                  時間：9:00～12:00                  集合：JR和白駅前の公園                  問合せ：092-606-0012（山本廣子）</p>	<p>11月7日（火）                  県営春日公園（春日市）                  時間：10:00～12:00                  集合：音楽堂ステージ側（第5P）                  問合せ：092-592-3423（小野仁）</p>

**日本野鳥の会 筑後支部**

10月22日（日）  
 時間：9:00～  
 集合：高良下宮社  
 問合せ：090-4357-3043  
 （溝田泰博）

**福岡植物友の会**

10月15日  
 昭和の森（福岡県宇美町）  
 詳細は問合せください。  
 佃 昇（092-662-2983）

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

11月4日（土）  
 集合：九州歴史資料館  
 第1駐車場  
 時間：9:30～12:00  
 （早めに終わるかもしれません）  
 問合せ：092-920-3072  
 参加費：大人 200円

コロナ対策：ブログにて確認  
 ブログ「三国丘陵の自然を楽しむ会」で



リリアカネ 三国松永

**久留米の自然を守る会**

2024年2月10日（土）  
 総会と講演会  
 集合：くるめウス  
 時間：13:30～  
 問合せ：0942-43-7959（河内俊英）



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

**和白干潟を守る会**

10月28日（土）  
 定例会議  
 時間：12:00～14:00  
 集合：和白干潟を守る会事務所  
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

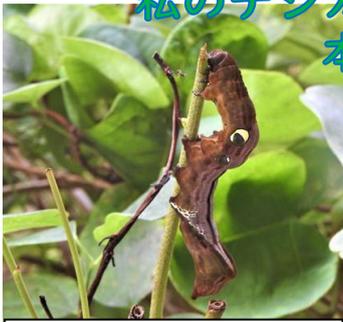
10月28日（土）  
 クリーン作戦 と自然観察会  
 時間：15:00～17:00  
 集合：海の広場 駐車場なし  
 長靴・軍手があると便利  
 問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



ヤマトシジミ・ゲンバショウコ 三国松永

# 2023年9月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、9月1日(旧暦7月17日)~9月30日(旧暦8月16日)までのデジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



9/2(旧7/18)筑紫野市天拝坂  
アケビコノハの終齢幼虫。まだ盛んにツルの先端をかじっている。そのうち葉っぱを丸めて蛹かな。



9/3(旧7/19)筑紫野市天拝坂  
オオヤマレンゲが1輪咲いた。季節外れの戻り花。季語では「帰り花」。気象用語は不時現象とか。



9/5(旧7/21)筑紫野市天拝坂  
家内はヤモリが苦手ようだ。今月の我が家への侵入者。コバエとか食べてくれるんだよね。



9/7(旧7/23)筑紫野市天拝坂  
坂下の農家のソテツで見かけた。通称クマソ。クロマダラソテツシジミのオス。蘇鉄の無事を祈る。



9/7(旧7/23)筑紫野市天拝坂  
ヤマモモの街路樹の幹に、ゴマダラシロエダシヤクを観た。翼長は5cm以上。シンプルで美しい。



9/7(旧7/23)筑紫野市天拝坂  
腿節やウチワ状突起に黄斑が無いので、タイワンウチワヤンマのようだ。水石谷池を縄張りしている。



9/9(旧7/25)筑紫野市天拝坂  
世界中で一番身近なハエ取りグモ。我が家のアダンソンハエトリ、左から♀♂である。



9/11(旧7/27)太宰府市通古賀  
チーという声が、鷺田橋から一直線に下流へ飛んだ。水辺の砂地にカワセミ雌がいた。まだ若い。



9/12(旧7/28) 唐津市七山池原 椋原湿原は標高600mだが、現地の温度計は、10時過ぎで25℃の夏日。それでも風は爽やかで、サワギキョウが花盛りであった。左から吸蜜中のモンキアゲハ、スジボソフトハナバチ、クロアゲハ、ホウジャク。他にもキトンボなど多かった。



9/12(旧7/28) 唐津市七山  
白竜滝入口のエノキに産卵中のゴマダラチョウを観た。葉間を動き回り産み付けている様子。



9/12(旧7/28) 唐津市七山  
7/7から降り続いた豪雨で、七山は大きな被害が出ていた。道路が決壊した崖地にヒガンバナが咲いていた。



9/19(旧8/5)筑紫野市天拝坂  
羽繕いのヤマガラと眼が合った。羽を伸ばして背伸び中。一瞬間まっすぐ向きと向こうを向いた。



9/23(旧8/9)福岡市中央区  
春吉の建立寺で咲いていた白花曼殊沙華、赤色の彼岸花と鍾馗水仙の自然交配種らしい。築城町に群生地があるという。



9/26(旧8/12)福岡市中央区  
建立寺の真上を、今年もハチクマが渡った。55羽を数えた。法要の空き時間での一期一会の出会い。自宅ではまだ観ていない。



9/29(旧8/15)筑紫野市天拝坂  
中秋の名月で満月。筑紫野宮地嶽の月の出。大きくて、丸くて、赤い月。この36分後の18:59が、満月の瞬間だという。芋名月。

# 春日公園自然観察会 令和5年9月16日(土)【参加者数】5人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～牛頸川～自然あそび館で歩いた。

観察内容 晴れ、30℃で開始。蜻蛉、川の中の草本を中心に観察した。

植物 シンジュ(幼木)、マルバルコウ、コトネアスター、メリケンムグラ、ベニバナマメアサガオ、ヒガンバナ(この季節初認)、ソクズ、アレチヌスビトハギ、ヤナギバルイラソウ、タマスダレ、オオオナモミ、エノコログサの仲間、テンツキ、マルバイ、サルスベリ。

昆虫 ベニトンボ(♂♀)、シオカラトンボ(♂♀)、ショウジョウトンボ(♂♀)、ウスバキトンボ(多い)、ツماغロヒョウモン、ムラサキシジミ、アオスジアゲハ、ギンヤンマ(♂♀)、ハンミョウ、

野鳥 メジロ、ハクセキレイ、キジバト、スズメ、ムクドリ、シジュウカラ、エナガ、ヤマガラ、コゲラ、コサメビタキ、エゾビタキ、センダイムシクイ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、イソヒヨドリ、アヒル

## 感想(参加者の声)

- ・自然あそび館のそばで、シンジュの幼木を数本見かけた。親の木から離れていたのので、驚いた。
- ・ベニトンボ、ウスバキトンボの飛翔を観察できた。
- ・オオオナモミの雄花と雌花の観察ができた。
- ・川の中、ヤナギバルイラソウがたくさん観察できた。
- ・ヒガンバナ(曼珠沙華)の花をこの秋初めて観察した。

## 観察会の風景

## ベニトンボ♂

## マルバルコウ



## ショウジョウトンボ♀

## アレチヌスビトハギ

## ヤナギバルイラソウ



## メリケンムグラ

## コツブキンエノコロ

## シンジュの幼木



以上

## 会員からの投稿 (1)

窓越しの自然観察 55 ～ 一期一会 29 ～

春には、あまり見かけなかった蝶を八月末からシジミチョウに始まりクロアゲハまで、様々な蝶が九月にかけ姿よく見せてくれました。十月に入って百舌鳥の高鳴きも聴こえて来る様になりましたが、未だまだ大型の蝶は健在の様です。

飛翔している蝶は捉え難く、大きく止まり葉をゆらしながら懸命に羽を乾かしているキアゲハのみ、ゆっくり観察できました。以前にも羽化から飛び立つまで2時間ほどかかるのを見ましたが、健気な姿です。



(ダムサイト住人 10/01 記)

## 事務局からのお知らせ(1)

2023年九州自然協議会 in 大分 開催のご案内 日時：10月28日(土)～10月29日(日)

集合場所：中津市大新田 ひがたらぼ(NPO 法人水辺に遊ぶ会) 主催：大分自然観察連絡協議会 中津干潟と一緒に考えよう 私たちの自然と子供たちの未来 たくさんの生き物で賑わった干潟は堤防や防潮堤で後背地と分断され、カエルや魚と戯れた川や池は護岸とフェンスで包囲されてしまいました。赤とんぼを追いかけた田んぼや畑にはギンギラギンのパネル。山を見渡せば巨大な風車の列。谷は盛土で固められ、ここにもパネルが…。再エネ 100%を目指しているのに、なぜか毎日 30 度越えの暑い 9 月。私たちの自然はどうなっているの？ 子供たちの未来はどこにあるの？ 九州各県の自然観察指導員や九州各地域で自然を大切にしていこうと日々取り組んでいる仲間達と、今現在の自然環境と子供たちの未来を 取り戻すため、中津干潟と一緒に考えてみませんか

\*参加費 1人 5000円(1泊2食分の実費、懇親会費用) \*持参するもの マイカップ・お風呂洗面セット・雨具・野外活動に適した服装・飲み物 ◎干潟に入りますので 長靴・着替え(転んだ時も備えあれば憂いなし)

\*申込締切 10月23日(月) \*申込には ①氏名(ふりがな) ②年齢(保険用) ③性別 ④住所 ⑤携帯電話番号 ⑥所属団体 をお知らせください。\*申込・問合せ 大分自然観察連絡協議会 事務局 鬼塚 隆子(携帯)090-3734-9821 メール toyomori@o-midori.jp Fax 097-578-8151 多くの皆様の参加を 心からお待ちしております

参加希望の会員は、直接、大分自然観察連絡協議会 事務局 鬼塚 隆子さんに申し込んでください。



福岡県の黒木町で開催した時の様子(交流会)



砂浜で採食中のミコビシギ 20230930

## 事務局からのお知らせ(2)

**自然観察指導員の講習会のお知らせです。佐賀県での開催です。**

**日程:2023年11月25日(土)~26日(日)**

**開催場所:佐賀県武雄市 佐賀県黒髪少年自然の家 募集定員:50名**

**費用:20,000円(受講料、宿泊食事費、初年度登録料、保険制度加入料、nscs-j 個人会員会費、テキスト代)を含む**

**申込期間:9/19(火)~10/30(月)**

**問合せ先:(公財)日本自然保護協会 自然観察指導員講習会担当**

**03-3553-4101**

**メール:[kansatsu1978@nacsj.or.jp](mailto:kansatsu1978@nacsj.or.jp)**



福岡県の夜須高原での講習会の様子

水辺での実習風景

自然に興味ある人たちにすすめていただければと思います。

## 事務局からのお知らせ

### 会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2023年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

**年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783**

### 定例会に参加してみませんか?

次回の定例会は、**令和5年11月9日(木)午後2時**より事務局で行います。令和5年11月号の原稿は、11/6(月)までに届くようにお願いします。**なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。**事務局の都合で、定例の日程を1日早めています。

## 編集後記

2023年9月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業。

能古島での散策を続ける中で、散策をはじめた平成4年頃、島内には猪はいませんでした。ところが、いつからか見かけるようになり、イノシシ対策で島内の畑や果樹園はほとんど柵で覆われています。島の人では、海を泳いできた猪が増えたという。もう一つ、人の手で島内に持ち込まれた話も聞きました。

島内の散策で、イノシシに遭遇することもあり、死んだ猪も見かけました。

どう、折り合いをつけていくのか、難しいですね。

福岡市西区能古島にて

撮影:田村耕作

